

令和 5 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

奈良県

行 事 名 称	霊山寺消防合同訓練
実施期間・日時	令和6年1月27日(土) 9:00~10:30
実 施 場 所	大本山霊山寺 本堂ほか(奈良県奈良市中町3879番地)
主 催 者	霊山寺、奈良市西消防署

■実施内容

訓練の想定

奈良県下全域に乾燥注意報が発令され、非常に火災が発生しやすい気象状況の中、たき火の飛び火により本堂西側の林野から出火し本堂並びに隣接建物への延焼危険あり、また、霊山寺境内及び数名が参拝中であるという想定で実施した。

訓練の内容

- (1) 霊山寺自衛消防隊の活動
消防計画に基づき、通報・参拝者の避難誘導・自動放水銃設備を活用した延焼防止活動及び重要物品（訓練用仏像等）の搬出訓練を実施。
- (2) 消防署と消防団の活動
境内の弁天堂南側貯水ダム及び放生池に水利部署し合同一斉放水を実施。

参加者及び役割分担

- (1) 霊山寺（管長以下10名）
通報訓練、避難誘導訓練、自動放水銃設備による放水訓練、重要物品（訓練用仏像等）の搬出訓練、講評
- (2) 奈良市消防団富雄分団（分団長以下35名）積載車4台（広報2車両含む）
一斉放水訓練、広報
- (3) 奈良市西消防署（署長以下16名）消防ポンプ車2台、指令車1台、搬送車1台
一斉放水訓練、講評

特に工夫した点

文化財防火週間に合わせ毎年合同訓練を実施していたが、近年は新型コロナウイルス感染症拡大及び気象条件の影響で開催できていなかったことから、霊山寺自衛消防隊、消防団及び消防署が火災発生時に速やかに活動できるよう基本的な手順の確認と連携の強化を図れる内容で実施した。

問題点・課題

霊山寺敷地は広域で、かつ多数の棟数と3つのエリアに分かれていることから早期に出火点や内容等の情報収集が重要である。また、消火車両の進入は案内所東側の参道のみで、かつ参道前に鳥居が設置されており進入車両も限られることから、各消防組織の連携が重要となる。

その他

霊山寺では、年2回の消防設備等の点検に合わせ手順の確認を実施されている。また、文化財防火週間に合わせ消防合同訓練を実施することで、防火・防災意識の啓発と文化財防火愛護意識の高揚を図る機会とされている。

訓練風景

別紙

収蔵物（訓練用仏像等）搬出訓練



自動放水銃の放水



ホース延長



放水訓練

